



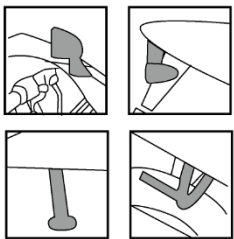
技術仕様
【車両規則書】

統一規定

全クラス統一車両規定

- 1) レースのために取り外さなければならない部品
 - ①ライト/ウインカー/リフレクター
 - ②バックミラー
 - ③ナンバープレート/リヤフェンダーと別体式のナンバープレートブラケット
 - ④セーフティバー/センタースタンド/サイドスタンド
 - ⑤同乗者用フットレスト/グラブレール
 - ⑥シートレールに取り付けられて荷掛けフック（溶接されたものの切断も可）
 - ⑦その他車検時に安全上取り外しを指示された部品

取り外さなければならない部品



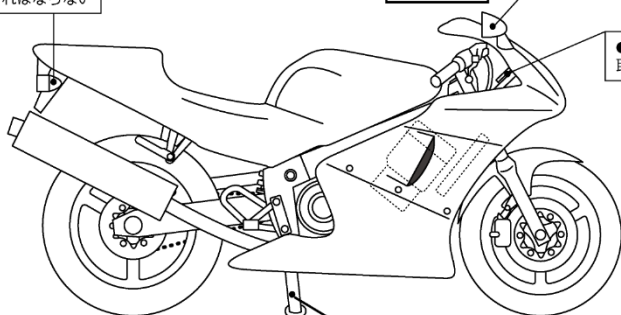
●ナンバープレート・ブラケット
取り外さなければならない

取り外すことができる部品

- ①計器類と計器用ブラケットおよび関連ケーブル
- ②ホーン
- ③ツールボックス
- ④タコメーター
- ⑤スピードメーター
- ⑥ラジエターファンと配線
- ⑦サーモスタット
- ⑧リヤフェンダー
- ⑨チェーンカバー
- ⑩リヤサブフレームにボルトオンされたアクセサリ
- ⑪エアクリナーエレメント
- ⑫別体（ボルトオン）のライセンスプレート
- ⑬スターターキックアーム

●バックミラー等の保安部品
取り外さなければならない

●スピードメーター・タコメーター
取り外すことができる



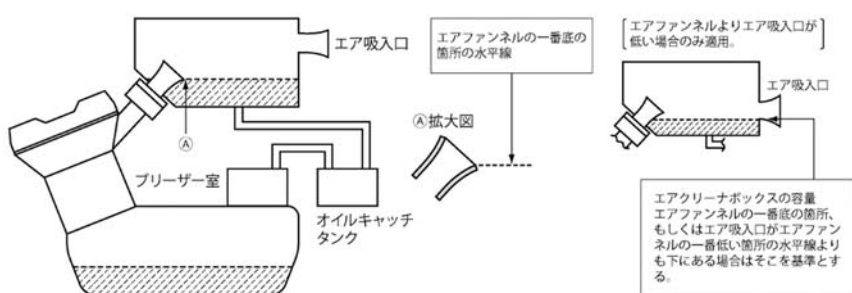
オイルドレンボルトは必ずワイヤロックすること!!

●スタンド・同乗者フットレスト
取り外さなければならない

2) 安全確保のため、改造・変更が義務付けられる事項

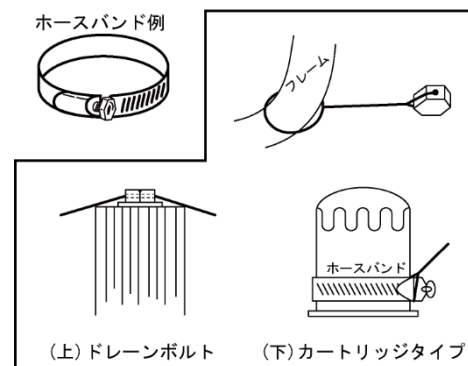
- ①スロットル・グリップは、手で握っていない時は、自動的に閉じるものでなくてはならない。
- ②キルスイッチは、ハンドルを握ったまま操作できる位置に取り付けること。
- ③クローズドブリーザーシステム
 1. 全ての車両はクローズドブリーザーシステムを採用しなければならない。
オイルブリーザーラインはオイルキャッチタンクまたはエアクリナーボックス及びオイルキャッチタンクに連結され、これに排出される構造となっていること。
 2. エアクリナーボックスの下部に排出穴が開いている場合、オイルが受けられるように塞がなければならない。
 3. エアクリナーボックス及びオイルキャッチタンクは、競技前に空にしなければならない。

4ストロークエンジンのブリーザーシステム

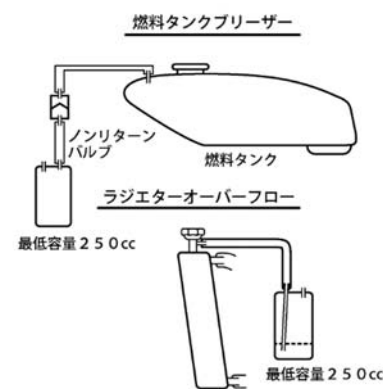


- ④オイルキャッチタンク
 1. すべての車両は、オイルブリーザーラインをオイルキャッチタンクに連結されなければならない。最低容量500cc以上とし、適切な材質でできていなければならない。
 2. オイルキャッチタンクとエアクリナーボックスの合計で1,000cc以上の容量を確保しなければならない。
 3. 走行中や転倒時に脱落やオイルの流出をしない構造でなければならない。
- ⑤オイルドレンプラグおよび供給パイプ
 1. すべてのドレンプラグはワイヤロックされなければならない。外部にオイルフィルター・スクリューおよびボルトでオイル・キャビティに進入するものは、安全にワイヤロックしなければならない。（例：ドレンボルト・オイルフィルターキャップ・レベルゲージ・オイルフィルター・水冷オイルクーラーボルト等）ワイヤロックするための穴あけ加工は認める。

ワイヤロック



2. 燃料タンクブリーザーパイプがついている車両は、ノンリターンバルブを燃料タンクブリーザーパイプに取り付けなくてはならない。これは、適切な材質でできた最低容量250ccのキャッチタンクに放出されるようになっていてはならない。
3. 燃料タンクフィルターキャップは閉じた状態で漏れないようになっていてはならない。
4. ラジエターオーバーフローパイプがついている車両は、最低容量250cc以上のキャッチタンクを取り付けなくてはならない。



5. チェーンとリヤスプロケットの間に、身体の一部が誤って挟まれることのないように、リヤスプロケットガードを取り付けなくてはならない。

3) レースのために変更、改造、チューニングが許される部分

- ①フェアリング下部のオイル受け
 1. エンジンの破損または故障時に、そのエンジンに使用されるエンジンオイル、およびエンジンクーラント総量の最低半分（最低5%）を保持できる構造になっていてはならない。フェアリング下部の内側には、オイルを吸収する難燃性の素材が貼られても良い。この規則を満足させる為に最低限の外観変更が許可される。
 2. フェアリング下部の端部は、一番低いところから50mmの高さまでなければならない。



3. ロワーカウル下部には、直径20mm（許容誤差+5mm）の水抜き用の孔を最少1個設けなければならない。（孔は2個までとする）
4. この孔はドライコンディションの時には閉じられ、競技監督がウェットレースを宣言した場合、開けなければならない。

②シリンダーおよびシリンダーヘッド

1. 転倒時に地面に接触する恐れのあるオイルを保持する全てのエンジンケース、2次カバーによって保護されなければならない。

2次カバーの材質については、下記の通りとする。

■すべてのクラス

複合材（カーボンまたはケブラー製）または、アルミニウム合金製。

複合材の2次カバーは、厚さ2mm以上とし、強固な接着剤またはボルトに適切かつ確実に固定されていなければならない。

アルミニウム合金の製の2次カバーは、厚さ4mm以上とし、急激な衝撃、摩擦、転倒のダメージに耐えうるものとし、適切かつ確実に固定されていなければならない。

■JP250・Dream Cup・Street250・Sundayクラス

上記の材質以外に、樹脂製（FRPまたはカーボン、ケブラー、プラスチック、ジュラコン等）が認められる。2次カバーは、厚さ2mm以上とし、強固な接着剤またはボルトに適切かつ確実に固定されていなければならない。

2. 2次カバーの接着性向上のための、必要最低限のエンジンカバーの塗装の剥離は認める。ただし、フェアリングの延長により接触部がカバーされる場合は2次カバーの取付はなくても認められる。

※車両の年式などの理由により、取り外さなければならない部品の取り外しが困難な場合は申し込み時に申請すること。
 ※2次カバーやアンダーカウルを装着できない場合は、事前にご相談下さい。
 ※上記申請・相談内容により、参加できない場合があります。

ST600

ST600クラス車両規定

- 1) 2017MFJ国内競技規則付則9 ST600技術仕様に準ずる。但し、ST600技術仕様7-6-6買い取り制度の適用はしない。
- 2) タイヤは、MFJが指定したワンメイクタイヤ（ドライ・ウェット）のみ使用することができる。
- 3) 使用できるタイヤの本数は、予選、ウォームアップ、決勝を通じて1セットとする。レインタイヤは規制外とする。

ST600指定タイヤ

銘柄	用途	F/R	名称	サイズ
ブリヂストン	ドライ	フロント	BATTLAX RACING R10	120/600R17
		リア	BATTLAX RACING R10	180/640R17
	ウェット	フロント	RACING BATTLAX E05Z	120/600R17
		リア	RACING BATTLAX E08Z	180/640R17

刻印：ドライ、ウェットタイヤのサイドウォールに「NOT FOR HIGHWAY SERVICE」または「NOT FOR HIGHWAY USE」（一般公道走行不可）の記載のあるもの。

※新製品の販売などにより、上記タイヤの使用期限を定める場合がある。
 ※ワンメイクタイヤについて詳しくは、ST600付則：「ST600クラスワンメイクタイヤの案内とタイヤ購入について」をご確認ください。

JP250

JP250クラス車両規定

- 1) 2017MFJ国内競技規則付則11 JP250技術仕様に準ずる。
- 2) タイヤは、MFJが指定したワンメイクタイヤ（ドライ・ウェット）のみ使用することができる。
- 3) 使用できるタイヤの本数は、予選、ウォームアップ、決勝を通じて1セットとする。レインタイヤは規制外とする。

JP250指定タイヤ

銘柄	用途	F/R	名称	サイズ	コンパウンド
ダンロップ	ドライ	フロント	DUNLOP SPORTMAX α-13SP	110/70R17	-
		リア	DUNLOP SPORTMAX α-13SP	140/70R17 150/60R17	-
	ウェット	フロント	DUNLOP RACING KR189	110/70R17	WA
		リア	DUNLOP RACING KR389	140/65R17	WA

刻印：ウェットタイヤのサイドウォールに「NOT FOR HIGHWAY SERVICE」または「NOT FOR HIGHWAY USE」（一般公道走行不可）の記載のあるもの。

※新製品の販売などにより、上記タイヤの使用期限を定める場合がある。
 ※指定タイヤの供給、ワンメイクタイヤについて詳しくは、JP250付則：「JP250クラスワンメイクタイヤの案内」をご確認ください。

OPEN

OPENクラス車両規定

- 1) 参加車両
 - ①国内・国外で販売された、公道走行用一般生産型車両。
 - ②改造・変更は自由とする。危険及び周りに迷惑を及ぼすような改造をしてはならない。
 - ③車両検査において、技術委員長が危険と判断した車両は出走できない。
- 2) 排気量区分

501cc以上	4ストローク
---------	--------
- 3) 最低重量

最低重量は、設定されない。（車両検査時、計測は行う場合がある。）
- 4) 音量

音量規制値は、105dB/Aまでとする。レース終了後は3dB/Aの許容誤差が認められる。測定方法は、JSB1000に準ずる。
- 5) 燃料

使用する燃料は、無鉛ガソリンで、サーキット内で購入したものを使用しなければならない。起爆剤、添加剤等を混入してはならない。
- 6) タイヤ

タイヤ規定は特に設けない。
スリックタイヤ・レーシングレインタイヤの使用も可能。

Street1000

Street1000クラス車両規定

- 1) 参加車両
 - ①国内・国外で販売された、公道走行用一般生産型車両。
 - ②改造・変更は自由とする。危険及び周りに迷惑を及ぼすような改造をしてはならない。
 - ③車両検査において、技術委員長が危険と判断した車両は出走できない。

2) 排気量区分

501cc以上	4ストローク
---------	--------

3) 最低重量

①各排気量別車両の最低重量は以下のとおりとする。

501～750cc	160kg
751cc以上	165kg

②マシンは、レースを終えた状態で車重規定に合格しなくてはならず、マシンには、水、オイル、燃料、またはタイヤを含む一切のものを追加することができない。

4) 音量

音量規制値は、105dB/Aまでとする。レース終了後は3dB/Aの許容誤差が認められる。測定方法は、JSB1000に準ずる。

5) 燃料

使用する燃料は、無鉛ガソリンで、サーキット内で購入したものを使用しなければならない。起爆剤、添加剤等を混入してはならない。

6) タイヤ

通常のルートで一般市販されているタイヤのみ使用ができる。
スリックタイヤの使用は出来ない。
レーシングレインタイヤの使用が可能。

DUNLOP Street 250

DUNLOP Street 250クラス車両規定

1クラス～3クラス

1) 参加車両

- ①国内・国外で販売された、公道走行用一般生産型車両。
- ②エアクリナーBOXとキャブレター本体は一般市販車と同じものを使用すること。
- ③電磁式燃料ポンプ装着車は、転倒時にエンジンを自動停止するカットオフスイッチを装着すること。その他の車両も装着を強く推奨する。
- ④車両検査において、技術委員長が危険と判断した車両は出走できない。

2) 排気量区分

201～250cc	4ストローク
-----------	--------

3) 最低重量

最低重量は、設定されない。

4) 音量

音量規制値は、105dB/Aまでとする。レース終了後は3dB/Aの許容誤差が認められる。

5) 燃料

使用する燃料は、無鉛ガソリンで、サーキット内で購入したものを使用しなければならない。起爆剤、添加剤等を混入してはならない。

6) タイヤ・ホイール

- ①ダンロップ製の一般市販タイヤに限られる。(Unbeaten 01/02/03の使用は禁止される。)
- ②レーシングレインタイヤの使用が許される。
- ③ホイールは、最大リム幅フロント3インチ、リア4.5インチまでとする。車両標準サイズがこれ以上の場合は、標準サイズの使用を認める。

Enjoyクラス

1) 参加車両

- ①国内・国外で販売された、公道走行用一般生産型車両。
- ②エアクリナーBOXとキャブレター本体は一般市販車と同じものを使用すること。
- ③電磁式燃料ポンプ装着車は、転倒時にエンジンを自動停止するカットオフスイッチを装着すること。その他の車両も装着を強く推奨する。

④車両検査において、技術委員長が危険と判断した車両は出走できない。

2) 排気量区分

151～250cc	2ストローク
120～250cc	4ストローク

※GP125車両は参加できない。

3) 最低重量

最低重量は、設定されない。

4) 音量

音量規制値は、105dB/Aまでとする。レース終了後は3dB/Aの許容誤差が認められる。

5) 燃料

使用する燃料は、無鉛ガソリンで、サーキット内で購入したものを使用しなければならない。起爆剤、添加剤等を混入してはならない。

6) タイヤ・ホイール

- ①一般市販タイヤに限られる。ダンロップ製の一般市販タイヤの使用を推奨する。
- ②レーシングレインタイヤの使用が許される。
- ③ホイールは、最大リム幅フロント3インチ、リア4.5インチまでとする。車両標準サイズがこれ以上の場合は、標準サイズの使用を認める。

全クラス

1) 車両の広告スペース

下記の位置に貼りつけなければならない。

車両	ステッカー位置	ロゴタイプ ※	サイズ (横×縦)
フェアリング (左右各1カ所)、フロントフォーク (左右各1カ所) またはスイングアーム (左右各1カ所) のいずれか。			17cm× 3.4cm

ロゴタイプのステッカーの実物はカラーのものとなります。

CBR250R Dream Cup

CBR250R Dream Cup マシンレギュレーション
2017年 CBR250R Dream Cup 技術仕様に準ずる。

URL : <http://www.honda.co.jp/HRC/event/cbr250rdreamcup/>

Sunday

Sundayクラス車両規定

1) 出場車両

国内・国外で販売されている、公道走行が可能な一般生産型車両。

2) 排気量区分

400cc以上	4ストローク
---------	--------

3) 最低重量

最低重量は、設定されない。

4) 音量

音量規制値は、105dB/Aまでとする。レース終了後は3dB/Aの許容誤差が認められる。

5) 燃料

使用する燃料は、無鉛ガソリンで、サーキット内で購入したものを使用しなければならない。起爆剤、添加剤等を混入してはならない。

6) タイヤ

通常のルートで一般市販されているタイヤのみ使用ができる。
スリックタイヤの使用は出来ない。
レーシングレインタイヤの使用が可能。

ST600 付則

■ ST600クラスワンメイクタイヤの案内とタイヤ購入について ■

地方選手権 インターおよびナショナルST600クラスは、株式会社ブリヂストン社製のワンメイクタイヤ制度になりました。

この制度は、競技のイコールコンディションとエントラントのタイヤコスト削減を目的とし、競技会参加の皆様は、大会エントリー時に指定されたタイヤを特別価格で購入することができます。

また、ワンメイクタイヤ制度に伴い、ブリヂストン指定表示（マシン、ヘルメット等へのステッカー貼り付け、キャップの着帽）等、参加者の皆さんに対し、遵守事項が義務づけられます。

大会参加にあたり、以下の内容をご確認いただき、大会エントリーと合わせて「タイヤ購入注文書※」で申込みください。

※ タイヤ購入注文書は、大会主催者のホームページからダウンロードできます。

< ST600ワンメイク指定タイヤ >

ドライタイヤ

銘柄	用途	商品名	サイズ
ブリヂストン	フロント	BATTLAX RACING R10	120/600R17
ブリヂストン	リア	BATTLAX RACING R10	180/640R17

ウェットタイヤ

銘柄	用途	商品名	サイズ
ブリヂストン	フロント	RACING BATTLAX E05Z	120/600R17
ブリヂストン	リア	RACING BATTLAX E08Z	180/640R17

刻印：ドライ、ウェットタイヤのサイドウォールに「NOT FOR HIGHWAY SERVICE」または、「NOT FOR HIGHWAY USE」（一般公道走行不可）記載のあるもの。

< ドライ用タイヤの購入・申し込み方法 >

- ・地方選手権インター、ナショナルST600（ST600R）の当該大会にエントリーしている者のみ特別販売価格にて購入できます。
- ・希望者は、大会エントリー期間中に大会参加料と合わせてタイヤの購入申込書とタイヤ代金を添えて、大会主催者に申し込みを行ってください。
- ・タイヤ代金の支払いは、大会主催者の指定の支払方法に従ってください。（現金書留、WEBエントリー方法等）
- ・購入したタイヤは、大会の前日または当日の朝にタイヤの引き渡しが行われ、引き渡し時間は、主催者の指示に従ってください。
- ・エントリー時にタイヤを購入しない場合は、上記のタイヤを各自の責任で用意すること。

< ドライタイヤの特別販売価格 >

ドライタイヤ前後1セット	25,920円（消費税込み）
--------------	----------------

- ・タイヤの販売は、前後タイヤの1セット販売のみとなります。

< ウェットタイヤについて >

- ・ウェットタイヤの特別販売価格の設定はありません。
- ・参加者は、ウェットタイヤ最低1セットをご自身で用意することが義務付けられます。
- ・大会期間中に2セット目のウェットタイヤが必要な場合のみ、エントリー時に購入した「未使用※のドライタイヤ」と無償で交換することができます。

※・・・未使用とは、リム組する前のラベル付きタイヤを指し、詳細は、ブリヂストンサービスの判断による。

< 大会参加にあたり遵守事項 >

ブリヂストン指定表示

- ・参加者は、MFJおよび大会主催者に「ブリヂストン広告」スペースを提供しなければならない。
 - ・「ブリヂストン広告」の範囲は図1、2のとおりとし、指定表示物（ステッカー）は大会主催者より配布され、指定された位置への貼付が義務付けられる。
- その指定位置左右に十分な間隔を空けてなければならない。レーシングスーツに張り付けるワッペンも全日本選手権参加者には無償配布（数量限定）となります。（入手方法は別途案内いたします。）

・車両の広告スペース

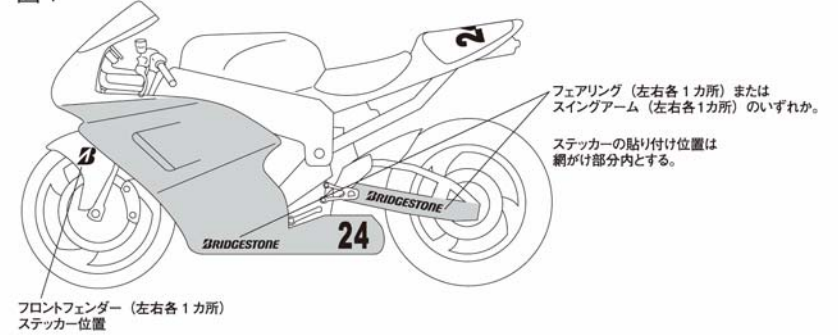
下記の位置に張り付けなければならない。

< 車両 図参照 >

車両 ステッカー位置	ロゴタイプ※	サイズ（横×縦）
フロントフェンダー（左右各1カ所）		7.5cm×6.5cm
フェアリング（左右各1カ所）またはスイングアーム（左右各1カ所）のいずれか		25cm×3.5cm

※ロゴタイプのステッカーの実物はカラーのものとなります。

図1



・ヘルメットまたはレーシングスーツの広告スペース

下表いずれかの箇所に  または  のロゴステッカーまたはワッペンを貼り付けなければならない。

ヘルメット/スーツステッカー位置	ロゴタイプ※	サイズ
ヘルメット シールド脇（左右各1カ所）		3cm×2.7cm
ヘルメット前頭部または顎部分（1カ所）		12cm×1.8cm
レーシングスーツ（前部分1カ所）		13cm×3.6cm（外枠）

※ロゴタイプのステッカーの実物はカラーのものとなります。

図2



- ・上記スペース以外の場所は参加者自身の特定の広告を貼付できるが、MFJおよび大会主催事務局によって拒否される場合がある。
- 拒否されるケース 他のタイヤマニファクチャラー名、他のタイヤマニファクチャラーの商品名および、公序良俗に反するもの、社会通念上奇異に感じられる名称など※参加者の装具への貼付も含む。

公式行事

公式行事（表彰式・公式記者会見等）への出席、ならびに出席時のブリヂストンキャップの着用が義務付けられる。

その場合は、他のキャップと併用して被ることはできない。

J P 2 5 0 付則

■ J P 2 5 0 クラスワンメイクタイヤの案内 ■

2016-2017年 MFJCUPおよび地方選手権 インターおよびナショナルJP250クラスは、住友ゴム工業株式会社製のワンメイクタイヤ制度になります。

この制度は、イコールコンディションとエントラントのタイヤコスト削減を目的に導入いたします。

また、ワンメイクタイヤ制度に伴い、ダンロップ指定表示（マシンのステッカー貼り付け、キャップの着帽）等、参加者の皆さんに対し、遵守事項が義務づけられます。

大会参加にあたり、以下の内容をご確認いただき、大会申込みを行ってください。

< JP250ワンメイク指定タイヤ >

ドライタイヤ

銘柄	用途	商品名	サイズ ※
ダンロップ	フロント	DUNLOP SPORTMAX α-13SP	110/70R17M/C 54H
ダンロップ	リア	DUNLOP SPORTMAX α-13SP	140/70R17M/C 66H 150/60R17M/C 66H

ウェットタイヤ

銘柄	用途	商品名	サイズ	コンパウンド
ダンロップ	フロント	DUNLOP RACING KR189	110/70R17	WA
ダンロップ	リア	DUNLOP RACING KR389	140/65R17	WA

刻印：ウェットタイヤのサイドウォールに「NOT FOR HIGHWAY SERVICE」または、「NOT FOR HIGHWAY USE」（一般公道走行不可）記載のあるもの。

※ 使用できるタイヤは、下記表に示される各ホイール適合したサイズに合致したものに限定される。

ホイールサイズ	適合タイヤ (M/C)	
17×3.50	140/70R17	
17×4.00	140/70R17	150/60R17

< 指定タイヤの供給 >

・MFJCUP・地方選手権インター、ナショナルJP250の各大会の参加者に対し、ドライ用フロントタイヤ1本がタイヤサプライヤーから無償提供されます。

このタイヤは、大会期間の指定された時間にタイヤサプライヤーから配布され、組み替え作業も無償となります。

※無償提供タイヤ以外の組み替え作業は有償です。

※受け渡し時のホイール取り違えを防止するため、各自ホイールへの記名をお願いします。

・参加者は、大会参戦にあたり、ドライ用リタイヤとウェットタイヤ（前後）を各自で用意しなければなりません。

< 大会参加にあたり遵守事項 >

ダンロップ指定表示


・MFJCUP、地方選手権のJP250クラスの参加者は、MFJおよび大会主催者に「ダンロップ広告」スペースを提供しなければなりません。

・「ダンロップ広告」の範囲は図1のとおりとし、指定表示物（ステッカー）は大会期間中に主催者より配布され、位置および角度への貼付が義務付けられる。

その指定位置左右に十分な間隔を空けてなければならない。

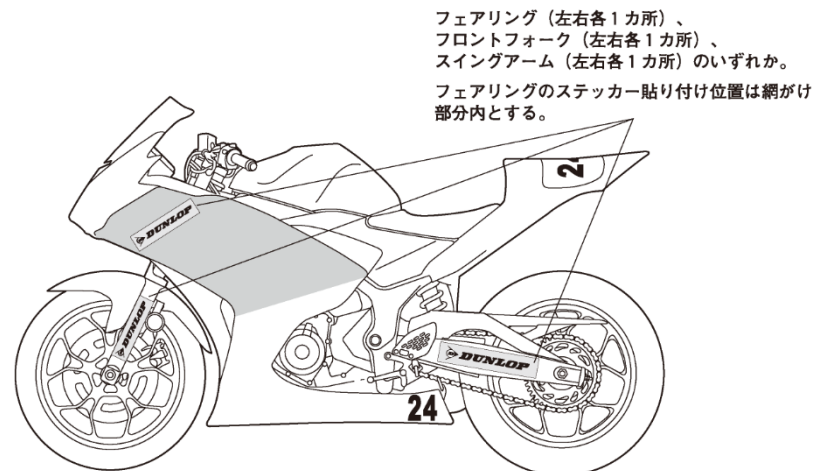
・車両の広告スペース

下記の位置に貼り付けなければならない。

車両 ステッカー位置	ロゴタイプ ※	サイズ (横×縦)
フェアリング(左右各1カ所)、フロントフォーク(左右各1カ所)またはスイングアーム(左右各1カ所)のいずれか。		17cm× 3.4cm

※ロゴタイプのステッカーの実物はカラーのものとなります。

図1



- ・上記、図1のスペース以外の場所およびヘルメット・レーシングスーツ等、参加者の装具を含め、参加者自信の特定の広告を貼付できるが、MFJおよび大会主催事務局によって拒否される場合があることを予め承知していなければならない。
- ・拒否されるケース 他のタイヤマニファクチャラー名、他のタイヤマニファクチャラーの商品名および公序良俗に反するもの、社会通念上奇異に感じられる名称など。※参加者の装具への貼付を含む。
- ・公式行事公式行事（表彰式、公式記者会見等）への出席、ならびに出席時のダンロップキャップの着用が義務付けられる。その場合は、他のキャップと併用して被ることはできない。